

## 普及現地情報



発信年月日：令和4年(2022年)8月29日  
所属名：大津・南部農産普及課  
番号：A22005  
部門分類：150(野菜)  
発信者名：野菜担当(主：川村、坂尾)

### 生産者の課題解決に向けイチゴ研修会を開催！

イチゴの収量が大幅に増収した事例の紹介とその要となる技術情報の提供を目的にして、7月27日にイチゴ研修会を開催しました。参加者は当課が参加を促した青年農業者クラブのイチゴ生産者3名の他、Zoom参加者を含めた19名でした。研修会の結果、管内のイチゴ生産者5名へ収量向上を目的とした継続的な栽培管理改善指導を行う運びとなりました。

イチゴ生産者を取り巻く経営環境は肥料や資材の高騰により厳しくなっています。それらに対応する方法のひとつとして、収量を現状より大幅に向上させ所得向上を図る方法があります。滋賀県のイチゴの収量は10aあたり4t程度を目標にしていますが県内には10aあたり7t以上収穫した事例があり、その事例を元に多収を実現した各種栽培技術、具体的には、厳寒期の温度管理、炭酸ガス施用方法、摘果数、培養液管理などについて説明しました。

研修会後には生産者同士や講師に詳しい話を聞こうと熱心に意見交換する生産者が現れ、当課も多収を実現するための栽培管理改善に関わる相談や支援要望を受け、関心の高さがうかがえました。

今後も当課は定期的に研修会を開催し、生産者の所得向上につながる情報を共有し、支援していきます。



イチゴ栽培に関する質問に答える当課職員